

令和3年3月
第2回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項
議 席 氏 名	
6 佐藤幸一	<p>1 PCR検査費用に助成措置を</p> <p>町長は昨年12月定例会において、助成は考えていないとのことであったが、無症状の町民の方が自費で受けるPCR検査費用について、改めて助成措置の確立を求めたいがいかがか。</p> <p>2 プレミアム付き商品券について</p> <p>(1) プレミアム率の引き上げを行う考えはないか。 (2) 飲食店限定の商品券を発行する考えはないか。 (3) 購入希望数に近づける予算措置を講ずる考えはないか。</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席 氏 名		
3	山 下 清 美	<p>1 コロナ禍での飲食業等への支援について</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、昨年、町内商工業者へ町独自の緊急支援事業給付金交付や割増率の高い商品券への助成を行い、町内の購買力向上に大きな効果をもたらしたところである。</p> <p>町長は選挙でも「まずは新型コロナ対策による生活の安定を図ります」と訴え、新年度予算にも商工費で中小企業近代化資金の特別貸付及び地域活性化商品券のプレミアム率を一昨年よりもアップして予算計上されている。</p> <p>しかしながら、町内でも5人以上の会食など外食を控えており、飲食店や関連する商店ではまだまだ元の状態に戻っていない状況である。</p> <p>そこで、飲食業等の個々の状況聞き取りを継続し、必要に応じて給付金などの追加支援を行うことも考えなければならないと思うが、町ではどのように考えているか伺う。</p> <p>2 道の駅について</p> <p>道の駅については、昨年9月定例会で一般質問をしたところ、町長からは「第6期総合計画に盛り込んでいければ」との答弁があり、今回の町長選挙では「道の駅を整備します」と宣言された。</p> <p>町長は、任期中の4年間でどのような方法で調査研究を進め、どのようなスケジュール感で取り組もうと考えているのか伺う。</p> <p>3 体育館建設事業について</p> <p>体育館建設事業については、新年度予算で町民検討会議に諮って建設基本設計を行う予定である。</p> <p>スポーツ関係者との意見交換や町民アンケートを実施したが、それぞれの町民の意見を町としてどのように解釈、分析したのか。</p> <p>また、新体育館等建設庁内検討会議では、規模、位置、付帯施設など、どの程度まで検討が進んでいるのか、具体的な方向性はあるのか伺う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
4	中河つる子	<p>1 新型コロナウイルス感染症の発生を防ぐため立ち向かっている医療・介護施設へ経費の支援を</p> <p>昨年2月に十勝管内で新型コロナウイルスの感染症が確認されてから1年が過ぎ、感染者は700人にもなった。</p> <p>11月には十勝でも初のクラスターが認定され、その後、当町でもクラスターが発生した。発生が多いのは介護老人施設である。そして病院でも発生した。</p> <p>これらのニュースを見聞きして、わが町の介護施設や病院は、感染者を出さないように頑張っていると思った。</p> <p>クラスターを発生させないように実行してきた予防対策として、①消毒、清掃の徹底 [通常の3倍の時間をかけ、人員も増やしてやっている] ②職員の注意喚起 [施設に病原菌を持ち込ませないために、外出して感染の疑わしい人には休んでもらう。残った職員の超過勤務で仕事を埋めるなど] ③予防のための連絡体制の整備 [LINE (ライン) で全職員へ送る] が挙げられた。</p> <p>これは一例であるが、地域の医療に責任と使命感を持ち、長期間努力してきているのが事実である。</p> <p>これらの対策によりコロナ患者を出さないでいると思うが、経費も相当かかっているという。それらの経費を町で支援するべきではないか。</p> <p>国の第3次補正、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って、医療・介護施設を支援するべきと思うが町長の考えを伺う。</p>

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
10 奥 秋 康 子	<p>1 道の駅整備について</p> <p>阿部町長の選挙公約のひとつに「道の駅の整備」が掲げられており、これまで以上に観光に注力していくという熱意が感じられる。</p> <p>道の駅は制度発足から四半世紀がたち、令和2年7月の北海道内における道の駅の登録駅数は128となっている。その道の駅も今では過当競争に突入し、全国的にも業績不振に陥る傾向にあると聞いている。</p> <p>道の駅は休憩機能や情報発信機能を持つ一方で、飲食・販売などの経済機能を持っており、公益事業と収益事業の両立が特徴ではないかと思う。</p> <p>近年、市場環境が変化し、更にコロナ禍が長期化する中で、公益性を發揮しつつ健全経営を目指すのは容易ではないと考える。</p> <p>そこで、町長の道の駅構想について、次の点を伺う。</p> <p>(1) 道の駅は当然、道路利用者の利便性や安全性の向上という公益的な目的があるが、それ以外にどのような目的を持たせるか、その目的を明らかにすることも必要である。道の駅整備の目的と、どのような効果が期待できるのかを伺う。</p> <p>(2) 道の駅を整備するにあたり、本町独自で実施するのか又は道路管理者と共同整備を実施するのか、整備手法について伺う。</p> <p>(3) 道の駅の目的は収益を上げることではないと思うが、採算性も無視できないと思う。準備段階で本町の立ち位置を確認し、可能性を探るため、時間をかけて慎重に調査してほしいが、町長の所信を伺う。</p>	

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
		<p>2 投票時間の見直しについて</p> <p>本町は、投票時間の見直しをした平成 22 年の参議院選挙から、町内 9 か所の投票所の閉鎖時刻を 2 時間繰り上げて午後 6 時とし、上羽帯少年自然の家の閉鎖時刻は地域の戸数が少ないので午後 4 時までとしている。当時はすでに期日前投票制度の創設で投票機会が拡大されていたためであるが、市街地の投票所（4 か所）においては見直しをせず、法定時刻の午後 8 時までである。</p> <p>14 か所の投票所のうち 10 か所の閉鎖時刻を繰り上げて、全ての投票箱が集結しなければ開票作業に取りかかることができない。開票時刻が投票時間の見直し以前と同じ午後 9 時では、開票確定時刻が深夜になることもあり、有権者の「結果を早く知りたい」という心情に、住民サービスの面から見ても応えられていないと考える。</p> <p>期日前投票制度の利用が定着しており、投票日当日に投票する人は減少していると考えられる。投票所の閉鎖時刻を午後 6 時に繰り上げて投票率に支障はないのではないかと考えるが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 平成 15 年に期日前投票制度が創設され、利用が定着してきていると思うが、全投票者数のうちおよそ何割が期日前投票を利用しているか。また、投票日当日の割合についても伺う。</p> <p>(2) 投票日当日の午後 6 時から午後 8 時までの投票者数（4 か所の合計）はどのくらいか。</p> <p>(3) 開票に当たる職員が深夜まで勤務して次の日も出勤となると負担が大きいのではないか。投票時間短縮のメリットとして、経費節減や立会人の負担軽減、住民サービスの観点から早く結果を知りたいと思う有権者の心情に応えることができる。市街地 4 か所の投票所の閉鎖時刻を午後 6 時として、開票時刻を午後 7 時にすることはできないか。</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席	氏 名	
1	深 沼 達 生	<p>1 公園の現状と今後について</p> <p>本町には、清水公園や清水中央公園などの都市公園が14か所あり、その他の公園が7か所ある。遊具の経年劣化による老朽化が進み、公園の遊具が徐々に減っているのが現状である。</p> <p>その中で、公園に行っても幼児用の遊具がなくて子どもを遊ばせられない。</p> <p>また、本町には大型の遊具やアスレチック的な遊ぶ場所がないので、他町村に遊びに行っているという声を聞く。</p> <p>そこで、次の項目について伺う。</p> <p>(1) 利用の少ない小規模公園については、劣化の著しい遊具を順次撤去することとし、緑地化を進めるとあるが、新しい遊具や幼児の遊具などを設置する考えがあるのか伺う。</p> <p>(2) 道東の玄関口でもある清水公園に子どもたちがのびのびと遊べる大型遊具やアスレチック的な公園をつくる考えがあるのか伺う。</p> <p>(3) 今年度の計画で「清水中央公園」と「御影公園」の遊具を改修・更新するとあるが、複合遊具的なものを考えているのか伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏 名	質 問 事 項
5	鈴木孝寿	<p>1 役場発注案件における町内事業者への基本的な考え方について</p> <p>これまで役場発注案件は町内の振興を踏まえ、物品購入・各種入札行為等を町内業者中心に行われてきたと認識している。コロナ禍で経済が低迷すると思われる今後について、町長の考えを伺う。</p> <p>2 職員の適正配置について</p> <p>少子高齢化の時代に伴い、個人の働き方については終身雇用制の現状から変化をしている。役場内においても、若い世代の退職がこの数年で顕著に多くなっているが、現状をどのように把握し、それに対してどのようなマネジメントを行っているか町長に伺う。また、各課において人員の適正配置は成されているか伺う。</p> <p>3 無作為抽出における会議体の設置について</p> <p>無作為抽出における会議体の設置は、その内容によってこれまでの会議よりも成果を上げられる可能性を持つ。しかしながら選ばれない限り意見が言えないというデメリットもある。公募制の併用が現状では会議の進め方としてはより有効という論文発表もあるため、一般町民の参加を促す手法として今後併用すべきと考える。</p> <p>無作為抽出法を用いる会議の設置について、現状どのような根拠を持って実施されているか伺う。</p>	

質 問 者		質 問 事 項
議 席 氏 名		
		<p>4 SNS等で行う情報発信について</p> <p>SNSでの情報発信は必要不可欠な時代となり、今後はペーパー以上に重要視されると考える。発信に際しては受信側に対して不快な思いをさせることなく細心の注意が必要なのは言うまでもない。特に公である役場・役場職員には言葉及び言葉遣いには特段の配慮が必要と考えるが、今後各種発信をする上で、内部規定等の整備状況と今後の考え方について町長の考えを伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
2	川 上	均	<p>1 ハラスメント対応と役場内ガバナンスの構築に向けて</p> <p>一昨年から役場内でのハラスメント問題が表面化し、直近のアンケートではセクハラ1件を含め13件のハラスメント事案が明らかになった。</p> <p>しかし、多くの職員によると残念ながらこれら問題は放置され、長期入院者や退職者が増大していると聞く。これらに対する現状認識と、町長2期目に入って全体のガバナンスをどう構築していくのか、町長の考えを伺う。</p> <p>2 食彩館閉店による町民への影響と今後の対応策は</p> <p>遅きに失したが、食彩館が2月下旬をもって閉店した。この間、農協組合員を始め、特に西地域の町民にとって利便性を含め親しまれてきた食品スーパーの閉店は残念であり、高齢化が進む中で大きな影響が懸念される。</p> <p>そこで、町としてこの間の対応と、今後の跡地利用及び特に西地域高齢者への対応について、町長の考えを伺う</p> <p>3 清水地区における認定こども園の今後の課題、スケジュール等は</p> <p>新保育所が設置され、今後は幼稚園との統合による認定こども園設置が計画されているが、今後の開設に向けた課題及びスケジュール等について町長の考えを伺う。</p> <p>4 令和6年度開設予定の介護医療院の設置目的と予定される費用は</p> <p>第8期清水町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）の中で、令和6年度の介護医療院開設に向け計画が出されているが、具体的内容と予定費用について町長の考えを伺う。</p>